

2023年9月14日

各位

新潟県シニアテニス連盟会長 二宮 修一

本日のチーム対抗戦は熱戦のうちに幕を閉じることができました。ひとえにご参加いただいたみなさまのおかげと、心よりお礼申し上げます。以下は、みなさまから事前にご質問等が寄せられました本大会「募集要項」に関するご報告です。お目通しいただければ幸いです。

1. 第34回新潟県シニアテニス大会（2023年度）チーム対抗戦「募集要項」について

今年度の募集要項は、主催者と主管による協議に基づいて作成されました。当該募集要項において、従来と異なる主な点は次の3つです。

- (1) 「同一クラブに所属する者」との参加資格を「地区テニス協会加盟登録団体に所属する者」としたことです。
- (2) 「NOP保持者（同等レベルの者を含む）が1名でもいるチームはAクラス、それ以外はBクラス」との規定を新たに設けたこと。
- (3) クラスをA, B, CからA, Bの2つとしたこと。

【変更の背景・経緯】

(1) 従来の参加資格が「同一クラブに所属する者」だったことから、この間、必要な選手数を確保できないクラブが参加を断念するという事例が見られました。しかしながら、他方で、クラブ員でない方を交えたチーム編成を行い、それが容認されるという事態も繰り返されています。2023年度の要項には、こうした矛盾・不公平を解消するとの意図があります。

(2) 以前から、参加申し込みの際に「クラス」の別を明記していただけないことがしばしばでした。それを回避するために一定の条件を付すことが必要だと判断し、指針としてNOPを採用入れたものです。

(3) いずれも中止となりましたが、2020～22年度では参加チームが少なく、3クラス制の維持が困難でした。これを受けて、2023年度は2クラス制を採用しました。

2. 来年度以降の「募集要項」作成に向けて

今年度の措置には、結果として問題点が複数あったことは率直に認めなければなりません。つまり、上記の(1)、(2)、(3)について、長く続いてきた「クラブ対抗」という性格を薄めてしまったかもしれないこと、NOPを指針とした際に曖昧な部分が残っていたこと、2クラス制と参加チーム数の増減との関係が不明なこと、などです。

主催者と主管は本大会をより充実・発展させてゆくために、これらの問題点を整理しながら、来年度以降の募集要項について検討を開始する予定であります。検討の過程でご意見を伺うこともあろうかと存じますが、ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

以上